

森町チャイルドファーストフォーラム Q&A

No	質問	回答者	回答
1	難しいのは一人一人とかプライベート、プライバシーを正しく理解していなくて協力を拒む人達にどう接していくのか、コツを教えてください。警察との連携の仕方についても教えてください。	石倉	家族内のみならず、家族を離れても子ども自身を守ることができるようなプライバシーの考え方はアップデートが必要かもしれません。世代間の違いなどもありますが、まずは若い世代から教育の現場で伝えていくことで地域、社会がかわっていくのでしょうか、警察との連携はお互いの仕事の限界や強みについて発信しあい、違いを理解していくことでしょうか。
2	子どもに対するアプローチだけでなく、虐待親の改善に向けた取組も重要であるとお話でしたが、道南にそういった社会資源はあるのでしょうか。ありましたら、お伺いしてみたいです。	小笠原 石倉	一般的に、虐待してしまう親への指導は児童相談所が行う「指導措置」に含まれるかと思います。最近では、全国各地にある少年鑑別所が「法務少年支援センター」として、加害親への心理教育プログラムの実施なども始めています。(石倉)最近の北海道児童相談所ではCAREやPCIT(親子相互交流療法)などを習得してもらってから 家族再統合して取組もあります。
3	私は現在、小児科のクリニックで勤務しています。虐待を受けているかもしれないと思っても、「確信がない。もし間違っていたら」、「なかなか深く介入できない」などの理由でなんとなく見守ることで終わっていました。どうしたらこの先に進めるのでしょうか。でも見て見ぬふりはしたくないと思います。	石倉	医療者には虐待を疑ったら、通告する義務があります。虐待を確信する必要はありません。もし、通告したが虐待が否定されたとしても罪に問われません。クリニックで判断することが難しいこともあるでしょうから、入院などでもできる大きめの医療機関に紹介し、詳しい検査や診断、場合によっては虐待通告をするかどうか、依頼していただく方法もあります。気になるので大きなところに紹介し、その際には医療機関に一報ご連絡いただければ、意図が伝わり、子どもの安全に寄与することができるかと思います。

森町チャイルドファーストフォーラム Q&A

No	質問	回答者	回答
4	岐阜以外で警察と児相（子相）など他機関が連携している事例はありますか？ あれば具体的に教えてください。	小笠原	最も先進的な取組が福岡県にあります。まず、多機関ワンフロア同居が最初に始まった北九州市では、2003（平成15）年から、福岡警察の少年サポートセンター（サポセン）と、北九州市児相、同市教育委員会少年サポートチームの三者が、ワンフロアで活動し、情報共有と人事交流を積極的に行っています。その後県内の他地域でも同様の取組が進められています。 また、福岡県警では、令和3（2021）年に福岡少年院、福岡保護観察所と相次いで取決めを交わし、各組織が扱う少年について、福岡県警少年サポートセンターが立ち直りを支援していくことで合意しました。
5	子どもの学校でリストカットしている生徒が多いそうです。リストカットは無理に止めてはダメと聞いたことがあります。一保護者として誰にどう相談すれば良いのでしょうか。素晴らしいお話をありがとうございました。毎回学び、毎回泣いています。	石倉	リストカットをしている子を見ると、まわりは本当に苦しくなり、とにかくリストカットだけはしないと約束して、と云いたくなります。心の苦しさを身体の苦しさに置き換える形でリストカットしている子もいます。切っている子がいたら「キズがあるけど、何かあったの？」と手当をしてほしいと思います。相談に来たら、「よく相談に来たね、苦しかったね、キズをきれいにしようね」と言ってあげてほしいと思います。相談先はメンタルクリニックやこころの相談窓口のある小児科をおすすめします。
6	気付きとつながりの大切な事がわかりました。森町では、どの様な取り組みをされていますか。10年以上前にCAPを森町で見た事がありますが、継続されていましたか。	岡嶋	当町ではR6年度より教育委員会が主導しCAPプログラムを町内の小学校で実施する予定で、関連予算を3月議会に上程いたします。また今後も、子どもに接する現場の方々の理解協力を得ながら、Rifcr等の研修機会を増やし、知識や技能の習得を更に進めてまいります。多機関連携については要保護児童対策地域協議会を軸として情報共有、連携を更に広げていきたいと思っています。

森町チャイルドファーストフォーラム Q&A

No	質 問	回答者	回 答
7	<p>岐阜県のワンフロアのような取り組みがあれば良いのにとずっと考えていました。森町でこのような取り組みをされる予定はありますか。</p>	岡嶋	<p>岐阜県の事例のように、町内で物理的な連携課題を解消することは難しいですが、町内外に所在する関係各所との連携は様々な手法で更に深めることは可能だと考えています。要保護児童対策地域協議会の代表者会議において今後の方針などを調整し、まずは情報の収集・集積・共有・フィードバックの体制強化を更に進めていきたいと思えます。</p>
8	<p>岐阜県の取り組みでの成果は</p>	小笠原	<p>現状では、関係者からのフィードバックを基にしたコメントとなりますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ワンストップセンターであることのメリット（どの機関に入った虐待通告も相互に情報共有される。通告する側においても通告先の迷いがなくなった。） ② アセスメントセンターとしてのメリット（それぞれの専門領域の知識や情報を得られるため、精度の高いリスクアセスメントが可能になった。） ③ 警察・児相・市・市教委のそれぞれの異文化の組織の文化、言語を理解の促進（組織体系、組織内の意思決定プロセス、専門用語など、言葉の壁、組織の壁を越えたコミュニケーションがスムーズになってきた。） ④ 多機関の行動連携の促進 <p>等々、ワンルーム、ワンフロア同居による場所的近接性の向上が、情報共有や行動連携を促すのみならず、組織文化の相互理解にも繋がっている様子が伺えます。</p>

森町チャイルドファーストフォーラム Q&A

No	質問	回答者	回答
9	「児相や警察は助けてくれなかった」、「周りにSOSを出しても誰も助けてくれなかった」とSNSやYoutubeで言う子どもや社会人を見たことがあります。全国の諸施設・警察が機能を果たすようにするためにやっていることはあるのでしょうか。	小笠原	子どもの心情への理解を促進するため、一部、警察部内での研修や、当事者の方々からお話を伺う機会を作っていますが、取組の広がりはこれからと感じています。
10	ファーストペンギンを1人にさせない仲間づくりをするにはどうすれば良いでしょうか？職場の上司に少しもさからえないという人達が多いとどうしても1人になってしまいそうですが。	小笠原	疑問に思ったことや違和感を感じたことについて、差し障りのない相手に対して口に出してみる、というのはいかがでしょうか。案外、話してみると「自分もそう思う」という人はいると思います。また、上司とのコミュニケーションに困難を感じる場合には、一旦、その内容について客観的に周囲の方々と話し合ってみるのも良いと思います。「本来は間違っているのに、上司に逆らえないから正せない」というのは健全な組織ではありません。そこに違和感を感じられた時には、「公正な視点で見て、あの判断は正しいのか」ということを皆さんと話し合ってみるのが良いと思います。仮にその時は上司に逆らえず、方針を修正できなかったとしても、そこで一度立ち止まって仲間と話し合ったという経験は、その後に生きてくると思います。

森町チャイルドファーストフォーラム Q&A

No	質問	回答者	回答
11	性犯罪、性暴力、性加害、性被害の少ない国が世界にありますか？データとして。もしあれば、それはどんな文化的な特徴のある国ですか。	小笠原	<p>性被害についての公的なデータは、基本的には警察等へのレポート（被害届）の数があり、データ上は日本は大変少ない数字となっています。このようなデータだけ見ると日本は性被害の少ない国だということになると思います。</p> <p>他方、法律上の性犯罪の定義（処罰対象となる行為の範囲）が国によって異なっていることや、どの国・文化においても程度に差はあれど性被害は暗数化しやすく、データに表れない被害は相当あるということが言えるかと思しますので、データだけでは比較しきれないと考えられます。</p>
12	威力業務妨害について、警察はどのくらいのクレーマーだと来てくれるのか？詳しく教えて頂きたい。（職場でのお客様対応の参考にしたいです）	小笠原	<p>具体的にレベルでお示しすることは難しいですが、常識的なレベルを超えた言動で威力を示され、業務が妨害されたという状態が発生している場合には、警察にご相談いただく方がよいかと思います。（インターネットで「威力業務妨害」などで検索すると様々な事例が出てきますので、ご参照ください。）</p> <p>身体・生命や財産への危険を感じられた場合には、その場で110番してください。</p>
13	最後のムービーをペーパーにして欲しいです。	小笠原	<p>無断転載が禁止されていますので、出典のリンクをお伝えします。 https://www.chichi.co.jp/specials/5stories_enwoikasu/</p>